

## 第23回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

### 【1】 地域との関わり等について

#### 【地域との関わりについて】

- ・原子力技術者として東海村に住み30年近くになります。これからも永く東海村で暮らしたいと思っておりますが職業や老後についての不安を抱えています。そのような中で、今後ますます地域とのつながりが大切になってくると考えています。

#### ⇒【村長コメント】

- ・50代は仕事が忙しく、60歳になっても定年延長の影響などで地域ボランティアの担い手が減ってきている状況にあります。
- ・今のシニア世代と同じに考えないで、関わる人を増やす必要があると思います。しかし、個人主義が強い傾向もあるので、そのための意識付けが必要であると思います。

#### 【活用できる補助制度について】

- ・実際に地域との関わり合いが持てる活動をしたいと思っております。高齢者世帯の生ゴミを回収して有機農法に活用したり、農業を通して子どもたちとの関わり合いを持ちたいと考えています。村の補助制度で何か活用できるものはありますか？

#### ⇒【村長コメント】

- ・今年度も「村民企画提案事業」を実施する予定です。(担当：企画経営課)
- ・要支援までは該当しない方への日常支援を目的として、それを支える団体への補助制度を今年度から始めます。(担当：介護福祉課)
- ・両方とも「団体」であることが前提になるので、担当課に話を聞き活用等検討してください。

### 【2】 点字ブロックの設置について

- ・点字ブロックと信号機（押しボタン）が離れていて、利用できない場所があります。
- ・その他、点字ブロックが途中までしかなく、行動範囲が限定されてしまいます。
- ・ひたちなか市は勝田駅周辺が広範囲に整備されており、参考になるかと思えます。
  - 設置費用を考慮したカーペットタイプの導入
  - 関係者もアイマスクを付けての検証を実施しているなど
- ・道路陥没がひどく、視覚障害者は危険で歩けない場所があります。また、街灯の設置を望む周辺住民も多い状況です。

#### ⇒【村長コメント】

- ・点字ブロックについては、ひたちなか市の事例を踏まえて参考にさせていただきます。
- ・街灯の設置については、要望が多く対応が追いついていない状況です。
- ・併せて担当課に伝えます。

### 【3】 道路（点字ブロック、排水設備）等について

- ・道路の排水が悪く、家の前が水浸しになります。視覚障害のある子どもには水たまりを避けることは難しく、これから自立していく上でも心配です。
- ・村内の点字ブロックの設置が限定的であると思います。視覚障害者の住所等を把握しているのであれば、その人たちの生活圏も考慮した点字ブロックの設置を検討して欲しいと思います。
- ・「点字ブロックの設置箇所を把握していないのでは」と感じたことがあります。設置場所の把握・管理も必要ではないでしょうか。

#### ⇒ 【村長コメント】

- ・点字ブロックについては、村内の主要な場所には設置していますが、実際の生活導線は抜けていたと思います。今回意見が聴けたことは良い機会であり今後の参考にしたいと思います。
- ・道路の排水設備については、担当課に伝えます。

※特筆事項がなかった方につきましては、掲載を割愛させていただきます。